

機械器具 48 注射筒  
一般医療機器 注射筒キャップ 16825000  
**注入器キャップ**

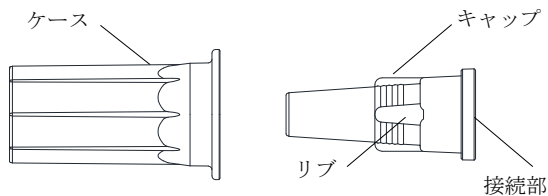
再使用禁止

**【禁忌・禁止】**

再使用禁止

**【形状・構造及び原理等】**

**\*\*〈構造図〉**



**\*\*〈原材料〉**

| 構成部品 | 原材料     |
|------|---------|
| キャップ | ポリプロピレン |

**\*\*〈原理〉**

注入器の先端を被覆し、注入器の内容物の漏れを防止することができる。

**【使用目的又は効果】**

注入器（先端が静脈ライン等のメスルアーテーパーに接続できない誤接続防止形状を有する経腸栄養剤、医薬品等の注入等を行なう注射筒）の先端を被覆する器具であり、注入器の内容物の漏れを防止する。

**\*【使用方法等】**

1. ケースを手を持ち、ふたを完全に剥がします。
- \*\*2. ケースの外側から本品を保持し、本品を注入器の先端へ確実に装着します。
3. ケースをまっすぐ取り外します。
4. 使用後は、本品のリブ部を持ち、回転させながら取り外します。

**\*\*〈組み合わせて使用する医療機器〉**

本品は、次の注入器の先端に装着して使用します。

| 販売名        | 届出番号             |
|------------|------------------|
| ジェイフィード注入器 | 34B1X00001000070 |
| JMS 注入器    | 34B1X00001000009 |

**〈使用方法等に関連する使用上の注意〉**

1. ケースから取り外す際、本品を強く摘まないこと。[装着した注入器から本品が外れるおそれがある。]
2. 本品を装着する際は、過度な締めつけや横方向の負荷を加えないこと。[本品が外れない、本品又は注入器が破損するおそれがある。]
- \*3. キャップ若しくは、注入器の装着部に栄養剤等が付着した場合は、装着部に緩みが生じるので拭き取ってから装着すること。
4. 本品を装着した状態で過度な負荷をかけないこと。[装着が緩み、本品が外れたり、内容液が漏れたりするおそれがある。]
5. 装着後は緩みがないことを確認すること。また、使用中は定期的に緩み、外れがないことを確認すること。
6. 本品を注入器に装着する場合は、注入前に本品を外して使用すること。

**\*\*【使用上の注意】**

**\*\*〈重要な基本的注意〉**

1. 本品に衝撃を与えないこと。[破損するおそれがある。]
2. 本品を鉗子等で挟まないこと。[破損が生じ、液漏れ、空気混入が生じるおそれがある。]
3. 本品は菌の繁殖防止及び注入器の内容液の効力維持に有効なものではない。
4. 患者等が本品を誤飲しないよう注意すること。

**\*\*〈不具合・有害事象〉**

- \*\*1. その他の不具合  
空気混入、漏れ、固着、外れ、緩み、破損
- \*\*2. その他の有害事象  
誤飲

**\*\*【保管方法及び有効期間等】**

**\*\*〈有効期間〉**

3 年 [自己認証（当社データ）による]  
包装の使用期限欄を参照すること。

**\*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者  
株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先  
TEL 0120-923-107